

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第7号 水稻

発行日 平成24年 9月27日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

- ◆ 県内全域で刈り取り作業が進んでいます。刈り遅れは品質低下の原因となりますので、刈り取りがまだの場合は早めに刈り取りましょう。
- ◆ 倒伏した圃場では、刈り分けによる品質確保等を行ってください。
- ◆ 日没が早まる時期ですので、作業は計画的にすすめ、安全な農作業を心掛けましょう。

1 適期刈り取りの励行

刈り遅れるほど着色粒や胴割粒等の発生が多くなり、品質低下につながります。刈り取りがまだの場合は早めに刈り取りましょう。

2 農作業安全

日没が早まる時期ですので、計画的に作業をすすめ、農作業安全に心掛けましょう。

- (1) 圃場での移動、運搬の際の転倒事故や追突事故には十分注意する。
- (2) コンバインにワラ等が詰まった場合には、必ずエンジンを止めてから作業する。
- (3) 夕方の事故が多いので、休息をとりながら焦らず、慎重な作業を心がける。
- (4) 反射材や低速車マークを取り付け、路上走行中の追突事故を防止する。

3 乾燥・調製の留意点 **仕上げ水分は 15.0%以下を徹底しましょう！**

(1) 胴割れ粒の発生防止

- ア 1時間あたりの乾燥速度(水分低下)は0.8%以下とし、送風温度に十分に注意する。急激な乾燥や過乾燥は避ける。
- イ 自然乾燥の場合、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げる。

(2) 舂すり時の肌ずれ、脱ぶの防止

- ア 玄米水分15.0%以下の適正水分で舂すりを行う(肌ずれ米の防止)。
- イ ロール間隔は、舂の厚さの約1/2(0.5~1.2mm)に調整する。脱ぶ率は85%を基準とする。

(3) ライスグレーダー粒選別

出荷製品となる玄米は、LL(1.9mm)の篩い目を使用し、整粒歩合80%以上に仕上げる。

農作物技術情報第8号は10月25日(木)発行の予定です。
気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。
※ 発行時点での最新情報に基づき作成しております。
※ 発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

9月15日~11月15日は秋の農作業安全月間

農作業 笑顔の豊作 無事故から

中央農業改良普及センター県域普及グループは、現地農業改良普及センターを通じて先進農業者に対する支援活動を展開しています。